

著者は愛知出身の衆議院議員。本書では、日本がアジアの一員であることを認識し、他を主張する。

— 近藤 昭一 さん 著

アジアにこだわる 立憲主義にこだわる



近藤さんは、以前から私に「小さくともキラリと光る国・日本」の続編のようなものを書きたいと言っていた。強権的な政治が続けられる今こそ、私も叫べ、彼が本書で訴える「小国主義」が実現されなければと願う。

元新聞記者 元内閣官房長官 武村正義

自身の政治活動を振り返りながら、豊富な文献をもとに小国主義や日本国憲法の歴史を検証している。

想に掲げた元内閣官房長官の武村正義氏ら先人を紹介する。

スイスなどの小国を評価した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理

評した明治時代の岩倉使節団や、戦前に「小日本主義」を主張した石橋湛山を取り上げる。さらに、戦後に「戦争放棄」を発案したとされる幣原喜重郎や、軍事大国を目指さず「小さくともキラリと光る国・日本」を理